

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「寄稿」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」
- 7 「政治」
- 8 「経済」

\*\*\*\*\*

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

冬到来です。いきなり寒くなりましたが、皆様お元気でしょうか。

10月も重要なイベントが沢山ありました。先般、ブリュロット・ケベック州駐日代表を邦人企業の方々に紹介させて頂きました。彼は今年の6月に駐日代表に就任しました。ケベックは州ですので「大使」ではありませんが、ケベックの特殊事情に鑑みれば事実上の「大使」です。当総領事館と「ブ」代表とは日本とケベックとの関係を発展させるという共通の目標を有しており、就任以来、緊密に連携しています。

10月後半には、モンリオール国際旅行博が開催され、日本からも各地方から代表者が参加されました。総領事館のブースでは、姉妹都市の広島にちなんで折り鶴のコーナーを設けました。カナダ人に鶴を折って頂くのは難しいのではないかと心配していましたが、皆さん器用に鶴を折られているのを見てうれしく思いました。

現在、総領事館で調整を進めている案件として、日本人学生のインターンシップの支援があります。当地に留学している日本人学生は、インターンを望んでも、当地企業は英仏語のバイリンガルを採用条件としているため、学生に意欲があってもインターンができません。そこで、総領事館でインターンを受け入れることとし、その準備を始めました。いずれはインターンシップを当地で広めて、日本人学生の支援を強化したいと考えています。

祝賀としては、先日、ジャン・ドリオン元ケベック州駐日代表と中村浩之・柔道「志道館」会長の令和元年秋の叙勲が発表されました。ドリオン氏は、駐日代表時代における日・ケベック州関係強化へのご貢献にとどまらず、連邦下院議員としても政治レベルで日加友好関係の増進にご尽力されました。現在も日本の良き理解者として、当館の活動にご支援頂いています。

中村氏は、ケベック州における柔道チーム「柔道ケベック」や全カナダチーム「柔道カナダ」の首席コーチを歴任され、優秀な指導者としてオリンピックや世界選手権等のメダリストを含むカナダ人柔道家を多く育成されました。お二人のこれまでのご功績に敬意を表するとともに、お祝い申し上げます。

最後に、先日、福島特命全権大使が国際民間航空機関代表部大使として、当地に着任されました。組織は異なりますが、当地における日本外交のプレゼンスの拡大は大変結構なことであり、当地の日本人コミュニティを代表して歓迎を申し上げたいと思います。

## 2 総領事館からのお知らせ

### (1) 2019年12月、2020年1月の休館日のお知らせ

2019年12月24日(火) Christmas Eve (任国の休日)

12月25日(水) Christmas Day (任国の休日)

12月26日(木) Boxing Day (任国の休日)

12月30日(月) 行政機関の休日(年末休暇)

12月31日(火) 行政機関の休日(年末休暇)

2020年 1月 1日(水) 元日(New Year's Day)

1月 2日(木) 行政機関の休日(年始休暇)

1月 3日(金) 行政機関の休日(年始休暇)

## 3 寄稿 ~フレデリクトン日本人会 世話役 工藤 晴華(NB州在住)~

フレデリクトンはカナダ東部に位置するニューブランズウィック州の州都、人口約5万8千人余りの小さい町でありながら文化、芸術、教育に富み、政治面において州内では重要な役割を担っています。町の中心部にセントジョン川が流れ、季節毎に木々達が彩を変える美しい自然に恵まれ、風格あふれる歴史的建造物と町並みが残されています。

ニューブランズウィック州はカナダで唯一、英語とフランス語が公用語のバイリンガルになっており、人口の約7%がフランス語を話すフレデリクトンでは、市内を歩いていると英語とフランス語の両方の会話が聞こえてきます。また数年前より、州が人口減少対策として移民の受け入れに力を入れ、各国の人々が集うようになりました。日本からの移住者も増え嬉しいかぎりです。

2007年には、当地に長年住まわれてきた方々の力添えにより「フレデリクトン日本人会」を設立しました。この会は、地域のイベントにおいて日本文化の紹介や日本人同士の情報交換を目的としており、現在26世帯が会員登録をしています。1月の新年会と夏のピクニックは毎年の恒例行事となっており、各家庭の手料理を持ち寄っての食事は時間を忘れるほど会話が尽きることがありません。ニューブランズウィック大学とセントトーマス大学に通う日本人学生と協力しソーラン節を各イベントで披露したり、学校や施設でゲスト講師として折り紙を教えたり、日本文化の素晴らしさをよりよく紹介するよう努めています。

2011年の東日本大震災の時、フレデリクトン日本人会で募金活動イベントを主催しました。バザー、オークション、食べ物販売、パフォーマンス等を行い、同会員の方々と地域の皆様から

のご協力を賜り1万1千ドルが集まりました。

フレデリクトンは治安が良く、安心して子育てができる環境がそろっていると当地の人達がいいます。横断歩道のない道を渡ろうとすると、ほとんどの車は停車してくれます。以前、在モン  
トリオール日本国総領事館から当時の総領事がフレデリクトンをご訪問された際にそれを経験さ  
れて大変に驚かれ「素晴らしい所ですね」と仰っていました。

また、フレデリクトンは小さい町でありながらも生活に欠かせない施設（空港、病院、ショッピ  
ングモール、教育機関等）はほぼそろっています。大学やコミュニティカレッジがあるので、高  
校を卒業した後フレデリクトンに残って進学するという選択肢があるのも良い点です。

さらに、子ども向けの施設やプログラムが充実しており、図書館には幼児からシニア世代にまで  
応じた様々なプログラムがあり非常に助かっています。人々も寛容で、赤ちゃんと一緒に外出し  
ているとドアを開けてくれたり、声をかけてくれたり、とても親切にしてもらうことが多いと当  
地の日本人ママは言っています。公共の場で子どもが泣いたり騒いだりしても肩身の狭い思いを  
することが少ないようです。

しかし、文化や医療方針が違えば、子育ての常識も変わるものです。カナダでは新生児の頃か  
ら一人部屋で寝かせています。離乳食の段階で砂糖が入ったおやつをあげる親も少なくありませ  
ん。

また、子育てにおいて一番の心配は病気になった時ではないでしょうか？日本では子どもが熱  
を出しても元気があって食事や水分が摂れていたなら少し様子を見るか、直ぐに熱冷ましは与えな  
い、などあると思いますが、こちらでは少しでも熱が出るとすぐに薬を服用するように言われま  
す。

予防接種を受ける際にも、医師から「副作用で熱が出るかもしれないから予防接種を受ける前  
に解熱剤を飲ませておくように」「冷たいお風呂に入れて熱を下げなさい」とアドバイスされるこ  
ともあり、親としてどうすべきか迷うことも多いようです。

フレデリクトンだけに限りませんが、雪降りや先生方の研修により学校が閉鎖されることも多  
く、夏休みも2ヶ月以上と長いので授業数が少なく、日本の教育制度と比べると少々不安になる  
日本人ママも多くいますが、ママ友同士の繋がりの中で情報を共有し、日本とカナダの文化を両  
方理解した上で助け合いができるのは良いことです。

フレデリクトンでは日本食材の購入に限りがある中で、日本人希望者が月1回の共同購入をオ  
ンタリオ州の小沢カナダででき、とても助かっています。そして、今年6月に日本人調理師が経  
営する「東京ラーメン」がオープンしました。日本から持ってきた製麺機で毎日製麺し、こだわ  
りのスープと食材で仕上げる本格的なラーメンが地元で楽しめるようになりました。日本人には  
もちろん現地の人々にもとても人気です。「日本料理＝寿司・天ぷら等」というイメージが強い中  
で、日本の食文化の豊かさを知って貰えることが出来て嬉しいです。

在モントリオール日本国総領事館の方々には私達の身の安全に関わる情報を常に送って頂き、  
普段から大変お世話になっております。2018年フレデリクトンで起きた発砲事件や雪解け水

による洪水災害の際には私達邦人の安否確認を迅速にして頂き、お礼申し上げます。

末筆ではありますが、この記事を書く上で意見や体験をシェアしてくださった方々にもお礼を申し上げます。日本から1万キロも離れたこの地で充実した生活が送れるのも皆様のお力添えのお陰と深く感謝しております。

フレデリクトン日本人会  
世話役 工藤 晴華 (NB州在住)

#### 4 領事便り

##### (1) パスポート・各種証明書の年内交付分の申請受付最終日について

パスポート・各種証明書の年内交付分の申請受付最終日を以下のとおりお知らせいたします。

○パスポート 12月17日(火)申請受理 → 12月27日(金)交付

○各種証明 12月19日(木)申請受理 → 12月27日(金)交付

○査証 12月17日(火)申請受理 → 12月27日(金)交付

上記の日より後に申請されたパスポート・証明書などの交付は、来年1月6日(月)以降になります。

帰国のための渡航書の発給など、人道上やむを得ないご事情がおありの方は、当館領事班までご相談ください。

電話 : 514-866-3429 (代)

##### (2) 戸籍関係届出書・警察証明申請書の年内日本送付のための当館受付最終日について

出生届、婚姻届などの戸籍関係届出書や警察証明申請書を、年内に日本へ送付することを希望される場合の、当館の届出・申請受付最終日を以下のとおりお知らせいたします。

○戸籍関係届出 12月18日(水)届出受理まで

○警察証明申請 12月18日(水)申請受付まで

上記の日より後に、届出・申請をされた場合、届出書・申請書の日本への送付は、来年1月10日(金)になります。

なお、戸籍関係届出書につきましては、届出書の種類によっては、直接、皆様から本籍地役場に郵送することもできますので、当館領事班までご照会ください。

電話 : 514-866-3429 (代)

##### (3) 当館管轄州での来年1月の領事出張サービスについて (再度のご案内)

当館では、モンリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

来年1月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願い

願いたします。

#### ○ケベック市領事出張サービス

日時 : 2020年1月26日(日) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後3時  
場所 : Maison Maizerets (2階)  
住所 : Domaine de Maizerets, 2000, Boulevard Montmorency, Quebec, QC G1J 5E7  
※ケベック-日本友好協会の新年会の会場の一部をお借りして実施いたします。  
電話 : 418-666-3331  
申込締切: 2020年1月10日(金)

【詳細】 [https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday\\_QC\\_20200126.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_QC_20200126.html)

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班まで願いたします。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : [consul@mt.mofa.go.jp](mailto:consul@mt.mofa.go.jp)

#### (4) 在留届内容確認の願

当館では、当館管轄地域にお住まいの邦人の皆様に、在留届をご提出いただき、テロや大規模災害等の緊急事態発生時に、皆様に必要な連絡ができる体制を整えております。

緊急事態に備え、また、より良いサービスの観点から、定期的に在留届のデータの確認・更新を行っていただく必要があります。

特に、(1) 滞在資格(長期滞在資格から永住権を取得)、(2) メールアドレス、(3) 住所(転居、帰国)、(4) 家族の追加(出産)等に変更があった場合に、在留届記載事項変更届のご提出がないケースが多く見受けられる状況です。

在留届をオンラインにより提出済みの方は、今一度、在留届をご確認くださいよう願いたします。身分証明書を持参の上、ご来館いただけましたら、当館にて在留届を確認することも可能です。

緊急事態に備え、皆様のご協力をよろしく願いたします。

- ・在留届に関する詳細はこちら

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>

- ・オンライン在留届(在留届電子届出システム(ORRネット))

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

在留届に関するご照会は、当館領事班あてにお問い合わせください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : [zairyu@mt.mofa.go.jp](mailto:zairyu@mt.mofa.go.jp)

#### (5) モントリオール日本語センターからのお知らせ

## 2020年度 幼児1クラス受講希望者オープンハウスのお知らせ

日時：11月23日（土）午前10時～11時

場所：College Notre-Dame

対象：2016年4月2日から2017年4月1日生まれのお子様の保護者

下記のグーグルフォームに必要事項を入力し、11月21日（木）までにお申込みください。

<https://forms.gle/ZZjP1J5TQxC3mGEz5>

希望者が定員を超えた場合には、説明会に参加された方から入校を優先させていただきます。

### （6）在外選挙アンケートへのご協力をお願い

今般、総務省より、日本国外に住む方を対象にした選挙制度に関するアンケートを実施することになった旨の連絡がありました。つきましては、下記より同アンケートにご協力いただければ幸いです（所用時間は5分程度）。

<https://r10.to/soumu-2019zaigai>

## 5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

### （1）日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の大使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの大使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮ってご参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/90th\\_event\\_2019.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html)

(2) 日加修好90周年事業

ア マンガ・北斎・漫画—現代日本マンガから見た「北斎漫画」展

江戸時代に葛飾北斎が描いた「北斎漫画」と日本の現代マンガの接点や相違点を通して、日本のマンガ文化の魅力を紹介する展示会です。国際交流基金・当館の共催で開催します。(無料)

期間：11月16日(土)～2020年1月5日(日)

場所：Bibliothèque Rivière-des-Prairies, 9001 Boulevard Perras, Montreal

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/2019\\_Manga\\_Poster.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/2019_Manga_Poster.pdf)

6 日本関連行事等のお知らせ

\*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

\*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

(1) 日加修好90周年記念事業

ア エスパス・ジャポンでのイベント(ケベック市)

(ア) Cine Nippon

ラヴァル大学図書館司書アニー・ベルベ氏監修の日本映画上映会です。

日時：9月5日(木)～11月28日(木) 毎週木曜日18時

場所：ラヴァル大学図書館4階(Local: 4117)

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4, Local: 4117

[https :](https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/bibliocine-pleins-feux-sur-le-cinema-japonais)

[//www5.bibl.ulaval.ca/evenements/bibliocine-pleins-feux-sur-le-cinema-japonais](https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/bibliocine-pleins-feux-sur-le-cinema-japonais)

(イ) 日仏語ランゲージエクステンジ

日時：(隔週月曜日) 10月7日, 21日, 11月4日, 18日, 12月2日

(仏語) 19時～19時45分 (日本語) 19時45分～20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

[https :](https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/instantanes-dimmersion-francaise-et-japonaise)

[//www5.bibl.ulaval.ca/evenements/instantanes-dimmersion-francaise-et-japonaise](https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/instantanes-dimmersion-francaise-et-japonaise)

(ウ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時：10月17日(木)～12月16日(月)

場所：ラヴァル大学図書館 4 階

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4

<https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/shodo-ensemble>

(エ) 水墨画アトリエ

今井則子氏指導の水墨画アトリエです。

日時：11月17日(日) 13時～16時

場所：ラヴァル大学図書館 4 階 (Local : 4285)

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4, Local : 4285

[https :](https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/decouvrir-la-peinture-a-l-encre-suiboku-ga-et-le-poeme-japonais-haiku-avec-l'artiste-peintre-noriko-imai)

[//www5.bibl.ulaval.ca/evenements/decouvrir-la-peinture-a-l-encre-suiboku-ga-et-le-poeme-japonais-haiku-avec-l'artiste-peintre-noriko-imai](https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/decouvrir-la-peinture-a-l-encre-suiboku-ga-et-le-poeme-japonais-haiku-avec-l'artiste-peintre-noriko-imai)

(オ) 和風クリスマスカードを作ろう

折り紙を使い、簡単な消しゴムはんこも添えて、和風のクリスマスカードを作成します。

日時：12月8日(日) 13時～15時

場所：ラヴァル大学図書館 4 階 (Local : 4285)

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4, Local : 4285

<https://www5.bibl.ulaval.ca/evenements/atelier-de-confection-de-cartes-de-noel>

(2) その他のイベント

ア ビジュアル・アート展「A piece of stone」

宮崎雅子氏による作品：写真、詩、セラミック、映像の展示です。撮影地は、宮崎県幸島と「遠野物語」の舞台である岩手県遠野市です。

期間：10月4日(金)～11月17日(日)

場所：Maison de la culture Côte-des-Neiges

無料

[https://www.accesculture.com/activite/Masako\\_Miyazaki\\_\\_A\\_piece\\_of\\_stone](https://www.accesculture.com/activite/Masako_Miyazaki__A_piece_of_stone)

イ Salon du livre de Montreal

大正時代の童謡詩人、金子みすずの詩を日本語とフランス語訳の2ヶ国語で読める絵本“Nous sommes tous différents et nous sommes tous beaux (「みんなちがってみんないい」)”の出版社による出展が行われます。翻訳者ヴァレリー・アルヴェ氏、イラストレーター是澤理恵子氏によるサイン会も開催されます。

期間：11月20日(水)～25日(月)

サイン会日時：11月23日(土) 17時～18時及び24日(日) 12時～13時



場所 : Place Bonaventure, 800, rue de la Gauchetiere Ouest, Montreal

出版社 Quebec-Amerique ブース

<https://www.salondulivredemontreal.com/>

ウ Obsession : Sir William Van Horne' s Japanese Ceramics

モントリオール美術館にて、ウィリアム・ヴァン・ホーン氏のコレクションである日本の陶器展が行われます。

期間 : 11月20日(水) ~ 2020年3月1日(日)

場所 : Montreal Museum of Fine Arts

<https://www.mbam.qc.ca/en/exhibitions/upcoming/obsession-sir-william-van-horne-japanese-ceramics/>

エ 生け花インターナショナル11月の行事

小原流ミニデモンストレーション及びワークショップが行われます。花器、鉢、剣山をご持参ください。

日時 : 11月26日(火) 13時

場所 : Mountainside United Church, 687, avenue Roslyn, Westmount

参加費 : 20ドル(要予約)

問合せ・予約連絡先 : 田中和子氏 ( [kazuko.dorangeville@gmail.com](mailto:kazuko.dorangeville@gmail.com) )

オ モントリオール日系文化会館歳末クラフト&フードセール

日時 : 12月1日(日) 12時~16時

場所 : モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

カ Le Salon des metiers d' art de Montreal

当地在住の陶芸家、間由加里氏 (Loft Stand #547.6) の作品が展示・販売されます。

期間 : 12月6日(金) ~ 22日(日)

月~土曜 : 11時~21時, 日曜 : 11時~18時

場所 : Place Bonaventure

800 rue de La Gauchetiere Ouest, Montreal

入場無料

詳細はこちらから御確認ください。

<https://www.metiersdart.ca/en/salon-metiers-art-quebec>

キ 八坂公洋ピアノコンサート

日時 : 12月14日(土) 17時開場, 17時半開演, カクテル18時半

場所 : Goethe Institut Montreal

1626 boul. St-Laurent, Montreal

問合せ先 : 514-499-0159, [info-montreal@goethe.de](mailto:info-montreal@goethe.de)  
[https://www.goethe.de/ins/ca/en/sta/mon/ver.cfm?fuseaction=events.detail&event\\_id=21699920](https://www.goethe.de/ins/ca/en/sta/mon/ver.cfm?fuseaction=events.detail&event_id=21699920)

#### ク 2020年ケベックー日本友好協会新年会（ケベック市）

\* 同会場で「領事出張サービス」が開催されます。

日時 : 2020年1月26日（日）11時～14時半

場所 : Chateau Maizerets, Domaine Maizerets（2階）  
2000, Boul. Montmorency, Quebec

会費 : 当日現金でご用意ください。

大人（13歳以上） : 23ドル, 7歳～12歳 : 12ドル, 6歳以下 : 無料（6歳以下のお子様は昼食はご持参いただくか, 12ドルのお弁当をお申し込みください。）

申込締切日 : 2020年1月19日（先着100名で終了）

\* ボランティアで, パフォーマンスやお手伝いをしてくださる方を募集しています。

参加申込み及び問合せ先 : ゴーバン雅美氏 [quebecjapon2018@gmail.com](mailto:quebecjapon2018@gmail.com)

<https://www.facebook.com/associationdamicitequebecJapon/>

## 7 政治

### （1）連邦下院総選挙結果

・10月21日, 総選挙の結果, トルドー与党自由党は続投が決まるも少数派政権となった。各党の獲得議席数は, 全国では全338議席中自由党157, 保守党121, ブロック・ケベコワ（BQ）32, 新民主党（NDP）24, 緑の党3, 無所属1。ケベック州では78議席中自由党35, BQ32, 保守党10, NDP1となり, 前回2015年総選挙と比べるとBQが22議席増やし, 反対にNDPは14議席失った。大西洋州では, 前回2015年総選挙で全32議席を獲得した自由党は6議席失い26, 保守党4, NDP1, 緑の党1。大西洋各州の結果は以下のとおり。

ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州 : 7議席中, 自由党6, NDP1

プリンスエドワードアイランド（PEI）州 : 4議席中, 自由党4

ノバスコシア（NS）州 : 11議席中, 自由党10, 保守党1

ニューブランズウィック（NB）州 : 10議席中, 自由党6, 保守党3, 緑の党1

### （2）ケベック（QC）州

・10月1日, ロベルジュ州教育大臣が, 現在公選制となっている教育委員会を廃止し, サービスセンターに統一することを目指す法案40を州議会に提出。

・10月2日, キャシー・ウォン・モントリオール市議会議長が, 与党プロジェ・モンリアルに入党（党首プラント同市長）。ウォン氏は2017年に議長に選出された時に野党エキップ・コデールを離党し無所属となっていた。

・10月2日、州内の先住民への聞き取り調査を実施・報告したヴィアン委員会の勧告を受け、ルギー州首相が州議会で、公共サービスにおける組織的差別があったことを先住民に対して謝罪。

・10月3日、連邦総選挙選挙戦で最初のフランス語による党首討論開催。中絶問題、政教分離、環境問題が争点となり、シーア連邦保守党党首にとって厳しい展開となった。

・10月7日、プラント・モントリオール市長が、アムステルダムとコペンハーゲンでそれぞれ開催されたワールド・サミットA Iと世界大都市気候先導グループ（C40）サミットに出席。

・10月9日、州政府は、3ヶ月前から中断していた留学生向けの州移民プログラム「ケベック体験プログラム（PEQ）」の応募要件を厳しく制限することを決定（その後、ルギー首相が制限措置の撤回を発表）。大学関係者は、留学生減と頭脳流出につながるとして強い懸念を表明していた。

・10月10日、連邦総選挙選挙戦で最後となる党首討論（仏語）で、トルドー連邦首相は、ルギー州首相が導入を目指す移民希望者向けのテストを容認する旨発言した上で、ケベック州民に対して自由党への投票を呼びかけた。

・10月31日、専門医の報酬削減を目指すルギー州首相は、州専門医連盟（FMSQ）の4年間で10億加ドルの削減案では不十分だとして、年間10億加ドルを削減するよう求めた。

### （3）大西洋全般

・10月19日、大西洋州大学協会が同地域の16大学を対象に行った調査によると、2019年度の入学者数は前年比で平均4%増加し、海外からの留学生数は前年比で20%増加した。

### （4）ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

・10月1日、ラブラドールのファーストネーション「イヌ・ネーション」は、ヌナトゥカブット（ラブラドール南部のイヌイット）が領有権を主張している土地はイヌとラブラドール北部のイヌイットが領有権を主張している土地と大きく重なっているとし、ヌナトゥカブットが9月に連邦政府と締結した自決権に関する覚書を無効にするよう連邦裁判所に申し立てた。

### （5）プリンスエドワードアイランド（PEI）州

・10月1日、州政府は、住宅不足に対応するため新たな「アフォーダブル住宅（低中所得者層向け住宅）開発プログラム」に225万加ドルを支出。同タイプの住宅建設・増設について1戸当たり45,000加ドルの返済免除条件付融資を提供するもの。

・10月16日、キング州首相は、公立4歳児教育プログラムの2020年秋開始を目指すと言。

・10月29日、州政府は、地方の道路舗装のため1,760万加ドルを追加支出。

・10月31日、州政府は、2018年度州予算が、前自由党政権が発表した1,380万加ドルの黒字よりも大幅に多い5,700万加ドルの黒字で終わったと発表。

### （6）ノバスコシア（NS）州

・10月2日、州北岸ピクトウ・カウンティにおける新たな排水処理場建設許可取得を目指す製

紙企業ノーザンパルプが追加資料を州環境省に提出。州環境省は今後提出された資料を公開して州民からの意見を募集し、遅くとも本年末までには建設可否の決定を下す予定。

- ・ 10月7日、強硬な環境保護団体がハリファックスのマクドナルド橋を占拠し、数人が逮捕された。同団体は国内の他都市でも同様の抗議活動を実施。

- ・ 10月8日、ヒューストン州進歩保守党（野党）党首は、カナダ人の拘束や香港の人権問題が解決されない中、マクニール州首相が11月に予定している8度目となる訪中を中止するよう呼びかけた。

- ・ 10月9日、州政府は、州内の選挙区数を現在の51から55に変更するための議会法改正案を州議会に提出。これにより2012年に廃止されたアカディア系州民の多く住む地域の3選挙区が復活し、新たに黒人系州民の多く住む地域の選挙区が1つ誕生する。次回州総選挙から適用となる予定。

- ・ 10月10日、州政府は、連邦議会等、州とは別の議会への出馬が決まった州議会議員の速やかな辞職を義務付けるための議会法改正案を州議会に提出。10月の連邦下院総選挙への出馬が決まった後もぎりぎりまで辞職せずに議員報酬をもらい続けていた州議会議員に対する批判を踏まえたもの。

- ・ 10月11日、ファーストネーションズ議会ニューファンドランド・ノバスコシア支部は、女性差別を行ったとしてグーグー支部長を解任。

- ・ 10月18日、フューリー州法務大臣が、警察による職務質問を州全域で禁止する旨発表。ハリファックスでは黒人は白人に比べて職務質問される回数が6倍多いという今年3月の第三者機関による報告を州の法律家が分析した結果、警察の職務質問は違法であるとの結論に至った。

- ・ 10月19日、州議会法改正委員会は、カナダ永住権保有者が自治体選挙で投票できること等を目指した地方自治体法改正を検討した結果、緊急性が低いとして法案化しないことを決定。サヴェージ・ハリファックス市長が求めている永住者への選挙権付与は、実現すればカナダ初となるはずであった。

- ・ 10月22日、ヒューストン州進歩保守党党首が、公立学校に通う子供の予防接種原則義務付けを目指した健康保護法改正案を提出。

- ・ 10月23日、ウィルソン州環境大臣が、2020年に期限切れとなる現行法に代わる「持続可能な開発目標に関する法案」を提出。現行法よりも目標を厳しくしたもので、温室効果ガス排出量を2030年までに53%削減し2005年のレベルを下回ること、2050年までにネットゼロを目指すこと等をうたったもの。

- ・ 10月25日、州検察官との給与交渉が難航している州政府が提出した、州検察官のストライキを禁じる法案の可決直後に両者が交渉を再開することに合意し、法は成立せず。

- ・ 10月30日、州議会で、使い捨てプラスチック袋の使用を禁止する法案を可決。同法は1年以内に施行される予定。

#### (7) ニューブランズウィック（NB）州

- ・ 10月1日、カナダ統計局の発表によると、NB州人口は今年7月1日現在で776,827人を記録。1年間で5,906人増と1991年以来最高となった増加数はほぼ全て移民によるもの。

- ・ 10月4日、キャリエ州公式言語委員会暫定委員長が年次報告書を発表。州公式言語法順守のための公式言語事務局の設立、介護施設においては契約時に何語でサービスが受けられるのかを明記すること等を勧告。
- ・ 10月8日、州の電力公社NBパワーは、州政府の代替案が認められずこのまま連邦政府から課される炭素税を適用し続けた場合のコストが、2030年までに年間6,700万加ドルになると初めて公表。個別に課税されることが決まっている同社所有のベルデューン石炭・石油コーク発電所の課税額は公表せず。
- ・ 10月8日、フレデリクトンで妊娠中絶手術が受けられる唯一の民間クリニック「クリニック554」が、このまま州政府からの財政支援を受けられなければ閉鎖すると発表。
- ・ 10月22日、連邦政府が州に課す炭素税に反対してきたヒッグス州首相は、連邦総選挙の結果は人々が炭素税に賛成であることを反映していると述べ、州独自の炭素税制度導入検討を含み連邦自由党政権の気候変動対策に従うと発言。同州の連邦総選挙結果は10議席中自由党6、保守党3、緑の党1であった。
- ・ 10月24～11月1日、ウェットモア農業・養殖・水産大臣がシーフード貿易ミッションで中国と韓国を訪問。
- ・ 10月28日、州政府は、現在州全体の面積の4.6%が指定されている自然保護区を2021年までに17%まで拡大すると発表。
- ・ 10月29日、州控訴裁判所が、州介護施設職員のストライキが禁止されているのは違憲であるとの州上級裁判所の判決を支持。州政府の敗訴となった右結果を受け31日、ヒッグス州首相は、カナダ最高裁判所への控訴か、民意を問うための解散総選挙実施をする用意があると発言。

#### (8) 各州世論調査結果（未確定分は除く）

##### 連邦下院選挙（政党支持率）

##### ア QC州

- ・ レジェ調べ、9月27～30日：自由党34%、保守党25%、ブロック・ケベコワ（BQ）21%、新民主党（NDP）10%、緑の党8%、人民党（PPC）2%
- ・ レジェ調べ、10月7～8日：自由党31%、BQ29%、保守党16%、NDP13%、緑の党7%、PPC3%、その他0%
- ・ フォーラム調べ、10月11日：自由党33%、BQ31%、保守党15%、NDP10%、緑の党7%、PPC2%、その他2%
- ・ レジェ調べ、10月13～15日：自由党31%、BQ31%、保守党16%、NDP14%、緑の党6%、PPC2%、その他0%
- ・ レジェ調べ、10月17～18日：自由党33%、BQ32%、保守党15%、NDP13%、緑の党4%、PPC3%、その他0%

##### イ 大西洋州

- ・ アバカス調べ、10月3～5日：自由党50%、保守党23%、緑の党14%、NDP9%、PPC3%
- ・ レジェ調べ、10月7～8日：自由党41%、保守党31%、NDP14%、緑の党11%、

PPC 2%, その他 1%

・アンガス調べ, 10月8~10日: 自由党 35%, 保守党 32%, NDP 16%, 緑の党 15%, PPC 2%

・アバカス調べ, 10月8~10日: 自由党 38%, 保守党 28%, NDP 18%, 緑の党 14%, PPC 2%, その他 1%

・アンガス調べ, 10月12~15日: 自由党 37%, 保守党 29%, NDP 17%, 緑の党 15%, PPC 3%

・レジェ調べ, 10月17~18日: 自由党 41%, NDP 23%, 保守党 22%, 緑の党 11%, PPC 3%, その他 0%

・アバカス調べ, 10月17~19日: 自由党 43%, 保守党 25%, NDP 20%, 緑の党 8%, PPC 2%, その他 2%

## 8 経済

### (1) QC州

・10月3日, 州政府は, メディア救済策として約1,200人のジャーナリストの給与を年間最大で1人あたり26,250加ドル補助すると発表。2024年までに総額5,000万加ドルを支出する。

・10月3日, ITセキュリティ企業・日立システムズセキュリティ(本社モントリオール)が, 高度なセキュリティ環境を必要とする州政府機関のデータや個人情報保護に関する契約の締結を目指していると当地紙 Le Journal de Montreal が報道。

・10月7日, エアバスが総額11.8億米ドルとなるA220型(元ボンバルディアCシリーズ)14機を新規受注。

・10月8日, ネマスカ・リチウムの取得に向け交渉中の英パリングハースト・グループが交渉継続を決定。同グループの独占交渉権は今年12月31日まで延長される。ネマスカ・リチウムには州政府が1.3億加ドルを支出しており, ソフトバンクも出資している。15日, ネマスカ・リチウムが従業員の半数となる64人を解雇。

・10月15日, ユニクロが2020年末, モントリオールのイートンセンターに州内1号店を開店予定。

・10月17日, 今後5年間で200人以上の従業員が退職予定の Waterville TG が, 人手不足に対応するため今後3年間で1,600万加ドルを支出し大規模な生産自動化に着手。

・10月20日, ケベック水公社(HQ)は, 水素技術開発に進出。水電解による水素製造を行う。昨年, 州政府はトヨタ自動車と同社の水素自動車50台を試験導入する協定を締結している。

・10月23日, トランプ米政権は, 2013年にカリフォルニア州がケベック州と独自に国際排出権取引制度を導入したのは州の権限を超えているとして, カリフォルニア州を提訴。

・10月27日, ルゴー州首相は在外同州政府代表団に対し, QC州からの輸出を現在のGDP比48%から50%に, 海外資本による対QC州投資を現在の70億加ドルの2倍となる140億加ドルに伸ばすことを目指すよう求めた。

・10月30日, ビール製造大手のモルソン・クアーズが最大500人の解雇と北米拠点のシカゴへの統合を発表するもケベック州拠点への影響は小さい見込み。

・ 10月31日、ボンバルディアが北アイルランド・ベルファストとモロッコ・カサブランカの工場を、米スピリット・エアロシステムズに12億米ドルで売却。

## (2) NL州

・ 10月11日、ニューファンドランド島北東部の小さな町ガンダーを舞台に2001年のアメリカ同時多発テロ発生時に起こった実話を基に作られ、ブロードウェイを始め世界各地で上演されているミュージカル作品「カム・フロム・アウェイ」の2020年5月の中国公演が決定。英語圏以外での上映は初。

・ 10月17日、州内の環境保全団体は州政府に対し、ノルウェー企業モウイ傘下ノーザン・ハーベスト・シー・ファームズがニューファンドランド島西部に建設を計画しているサケ養殖場の環境アセスメントのやり直しを求めた。同社がニューファンドランド島南岸に所有する別のサケ養殖場で9月に260万匹の大量死が発生し、同社の管理体制と環境対策が問題視されている。

・ 10月26日、NLハイドロ（NL州の電力公社）は、2020年までに州内14ヶ所に電気自動車高速充電ステーションを設置することを目指し、用地の公募を開始。

・ 10月29日、ボール州首相は、同州のオフショア油田開発による温室効果ガス排出量はアルバータ州や他地域における油田開発に比べ少ないとし、世界的な需要に応じて今後も石油開発を続けると発言。同州では今後数年で40億加ドル相当の油田開発プロジェクトが控えている。

・ 10月31日、州エネルギー公社ナルコーのマーシャルCEOは、予算超過、工期遅延等の問題を抱えるマスクラット滝発電所が、2020年1月にも電力供給を開始する準備が整うであろうと発言。

## (3) PEI州

・ 10月24日、コールセンター請負企業TTECカナダが、クライアント企業との契約終了を理由にシャーロットタウンの従業員200人に解雇通知。

・ 10月30日、カナダローン住宅公社（CMHC）によると、州内の住宅着工戸数は2019年の1,700戸をピークに2020年は900戸、2021年は725戸と、今後2年間で急激に減少する見込み。シャーロットタウンでは過去数年間、記録的な住宅不足に対応するため着工戸数が増加を続けていた。

## (4) NS州

・ 10月2日、合併企業パイサー・マリン・エナジーが、ファンディ湾で来年から浮体式プラットホームのタービンを使用した潮力発電プロジェクトを開始。

・ 10月4日、ケープ・ブレトン島のシドニー・ハーバー・インベストメント・パートナーズ（SHIP）が、廃プラスチックの燃料化施設をシドニー港に隣接するノバゾーン工業団地に建設することを目指し、米ミシガン州のQCIと合併契約を締結。

・ 10月8日、州政府が1億加ドルを支出するケープ・ブレトン地域病院拡張工事のため、建設事業者の公募を開始。建設は2020年開始予定。

・ 10月17日、セントローレンス湾におけるタイセイヨウアカウオの底引き網漁増加にともなう安全対策のため、電力企業エメラがNS州とニューファンドランド島をつなぐ2本の海底ケー

ブルの一部埋設工事を今年夏に実施していたことを発表。全長170キロメートルにおよぶ「マリタイム・リンク」は、ラブラドルで建設中のマスクラット滝発電所で発電される予定の電力をNS州、最終的にはニューイングランドに送電するため2017年に敷設された。

・10月23日、現在600人超を雇用するシドニーのコールセンターが、今年中に100人の増員を目指し採用活動を実施。

・10月25日、NS州出身者を始めとする科学者グループが、同州沖合は今後数十年にわたり引き続きロブスターの生育に適するであろうという予測を科学雑誌Frontiers of Marine Scienceで発表。カナダのロブスター漁による売り上げ13億加ドルの大半は同州産。同州に本社を置く水産大手クリアウォーターは、カナダで唯一のロブスター沖合漁業区域（LFA41）の免許を占有している。

#### （5）NB州

・10月10日、巨大企業集団JDアーヴィング（本社NB州セントジョン）は、傘下の州北西部ベイカー＝ブルックの製材所を11月1日で閉鎖する旨決定。65人の雇用が失われる。

・10月31日、州内66のスーパーでビール販売が開始。

---

#### [在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp)

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) までご連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/mailmag.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html)

#### ○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（[www.kantei.go.jp](http://www.kantei.go.jp)）

外務省ホームページ（[www.mofa.go.jp/mofaj/](http://www.mofa.go.jp/mofaj/)）

在カナダ大使館ホームページ（[www.ca.emb-japan.go.jp](http://www.ca.emb-japan.go.jp)）

当館ホームページ（[https://](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

[www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)）

当館 Facebook（[www.facebook.com/JapanConsMontreal](http://www.facebook.com/JapanConsMontreal)）

○発行：在モンリオール日本国総領事館



Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当  
( [emagazine@mt.mofa.go.jp](mailto:emagazine@mt.mofa.go.jp) ) までご相談ください。

